

平成30年2月15日
日本原子力発電(株)

自然現象等(竜巻)の工認審査における論点の説明スケジュールについて

【竜巻に関する論点(候補)】

- ① 飛来物評価の手法・モデルについての整理
- ② 隣接事業所, 国道を考慮した飛来物の抽出方針
- ③ 防護対策を行う防護対象施設
- ④ 緊対所建屋への飛来物衝突評価方針
- ⑤ タービン建屋への飛来物衝突評価方針
- ⑥ 使用済燃料乾式貯蔵建屋への飛来物衝突評価方針
- ⑦ コンクリートの裏面剥離の対応方針
- ⑧ BOP開放時の屋内設備(クレーン等)への影響の整理
- ⑨ 複数枚の扉による貫通評価手法
- ⑩ 可搬型重大事故等対処施設の固縛設計方針

No.	説明予定	説明のポイント
①	本日	<ul style="list-style-type: none"> ・フジタモデルを用いる飛散解析手法 ランキン渦モデルによる飛散解析手法との差異 フジタモデル採用における保守性の確保
②	本日	<ul style="list-style-type: none"> ・車両を想定した理由 ・車両の飛散条件をフジタモデルで決定する理由(鋼製材を竜巻ガイドから引用したこととの差異)
③	2/19の週	<ul style="list-style-type: none"> ・SA設備の防護方針と防護対策が必要となる設備
④	2/26の週	<ul style="list-style-type: none"> ・防護対象(「緊対所」の機能を有するもの) ・防護力を期待する外殻の考え方 ・飛来物(車両)のモデルの考え方
⑤	2/26の週	<ul style="list-style-type: none"> ・防護力を期待する外殻の考え方 ・飛来物(車両)のモデルの考え方
⑥	2/26の週	<ul style="list-style-type: none"> ・防護力を期待する外殻の考え方 ・飛来物(車両)のモデルの考え方
⑦	2/19の週	<ul style="list-style-type: none"> ・裏面剥離が想定される部位 ・防護方針(剥離発生防止, 設備側で防護の使い分け)
⑧	2/26の週	<ul style="list-style-type: none"> ・他条文の方針との関係 ・クレーン等に作用する荷重の検討 ・物品の飛散防止への配慮
⑨	2/26の週	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーによる貫通評価の考え方 ・BRL式による吸収エネルギー評価の保守性
⑩	2/26の週	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの観点(最大移動距離時の荷重, 不均一な引張荷重, 装置の一部故障)に対する設計の成立性

<1/25 に挙げていた他の論点について>

- ・ 飛来物に対する使用済燃料乾式貯蔵容器の評価方針
…建屋上部ガラリ位置での外殻防護の方針としたため上記想定が不要となった。
- ・ ALC部への対応方針（RC壁，鋼板壁の選択）
…2/13 審査会合にて方針を表明。（西側：RC壁，東側：鋼板壁）
強度計算の手法は既設部のRC壁や鋼構造の評価と大きな差異はない見込み。

以 上